



協働
力
芽生
エ
ル
。主
体
性

ツリーハウスプロジェクト

「アオハル52」は鳥根県江津市にある県立学校3校と一緒に学校生活を楽しみ、学んでいく様子をお届けする情報誌です。今年度から江津高校、江津工業、江津清和養護の3校で“まちで学ぶ”を考えるチーム、“GO▶GOTSUコンソーシアム”が立ち上

がり、それぞれの特徴を活かしたプロジェクトを行っています。学校同士はもちろん、地域、企業と一緒にさまざまな「学び」「楽しみ」を作っていきたいと思っています。この情報誌では、そういった連携の様子をお届けしていきます。

GO▶GOTSUコンソーシアムは学校を超えて、様々な人、企業、地域、学校が協働し、お互いがいろんな自分に出会うことができる協働の種を探しています。協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。

GO▶GOTSU!
コンソーシアム事務局

NPO 法人でござねっと石見
担当：竹内 / 藤田
tel : 0855-52-7820 mail : iwami@tegonet.net

“協働”からうまれるもの



協働の種は足元に

困っていること、もっとよりよくしたいところ、共有したいこと。一人で抱えなくていいと思うんです。いろんな気持ちのすぐ横に協働の種は落ちていきます。



協働の中で芽生えるもの

協働すると、いつもと違うヒト・モノ・コト・そして価値観に出会います。その新しい出会いが、自分の中に眠っている新しい関心・興味の芽生えにつながっていきます。



関心・興味の探究で育まれること

関心のあることややってみたいことが見つかった時、人は主体的に動くことができます。自分の気持ちに素直になって行動できる協働の場所があることで自分らしく動くことができる主体性が育まれていきます。



主体性をもって自分らしく生きる人に

いつもと違う場所に一步出て、新しい何かに出会った時に、いつもと違う自分に出会うことができます。協働はその新しい出会いをたくさんつくるための第一歩です。

ツリーハウスプロジェクト

江津工業×里山こども園わたぼうし×江津高校

江津工業高校と跡市にある里山こども園わたぼうしが協働してツリーハウスを森の中につくりました！
園児たちとの打ち合わせから始まり、江津高校と江津工業の野球部にも協力してもらい、完成させることができました！



強度や収まりの確認として、私たちが事前に1フロアつくりましたが、材料の搬入、組立が本当に大変でした。当日は江津高校と本校の野球部員、一般の方と「わたぼうし」の職員とこどもたちと協働してつくりました。まだ、階段などが不十分だと思うので今後アップデートできたらと考えています。

その後、こどもたちから感謝や楽しかったなどの言葉をもらえてうれしかったです。

江津工業 生徒

作ってくれて、うれしい気持ちだった。ペンキぬりぬりしたり、色んなことしたりして楽しかったよ。一緒にしてくれてありがとう！

わたぼうし園児



このプロジェクトを通し、『ほしいものを自分の手で作りあげる』というとても大切な経験をさせていただきました。今回ご協力いただいた皆様に感謝感謝です！

わたぼうし職員



江津駅 & 都野津駅100周年

江津高校×江津工業×江津清和養護学校

●都野津の風景モザイクタイル



江津清和養護学校
高等部1年生



江津高校3年生



各校で作成し、合わせて1つの絵に！フレームは江津工業で作成！ ※都野津駅の待合室に設置



学校ごとに違う場所での作業だったけれども、自分達に任された部分を、間違えないように、集中してタイルを一枚ずつ張って作りました。



右手で、はさみの柄の部分を押すと、紙テープが切れるように工夫した道具を使い、一枚一枚丁寧に切って作りました。「僕の作った紙吹雪、きれいに見えたかな？」

●黒板アート



黒板&フレーム：江津工業
黒板アート：江津高校 美術部3年生



江津高校美術部3年生は黒板アート甲子園2020で
中国・四国ブロックエリア賞を受賞！



●100周年記念くす玉



100周年というイベントに参加し、貴重な経験ができました。紐を引いた時、2つの駅が開業し本当に100年経ったんだと実感しました。

江津高校書道部

くす玉：江津工業
垂れ幕：江津高校書道部
紙吹雪：江津清和養護

清和あれこれ

今回は、江津清和にある温水プールの紹介をします。



江津清和には屋内温水プールがあり、一年中使用することができます。身体に障がいがあると、身体にとっても強い緊張が入ったり、麻痺があったりして、自分で手足を動かそうと思っても、思うように動かすことができません。



しかし、水中で身体を動かすと、緊張が緩み、普段とは違う身体感覚(ボディイメージ)を自分で感じることができます。また、普段出来にくい運動も、水の浮力を利用することで可能となり、手足をしっかりと自分で動かす経験ができるのです。このような理由で、プール学習は、身体に障がいがある児童生徒にとって、とても大切な学習になっています。